

令和3年度 日南市立榎原小学校 学校関係者評価書

総合評価の矢印は、昨年度の評価との比較です。(↘ ↗ →)

【学校経営ビジョン】 小規模校の特性や学校の組織力、教職員一人一人の資質を生かすとともに、家庭や地域との連携強化を推進し、創意と工夫豊かな地域に根ざした教育活動の充実を図る中で、学校の教育目標の具現化と地域に信頼される学校づくりに努める。 ～「導き、見守り、見届け、ほめる教育」の推進～ ～「夢・目標を大切にしながら児童一人一人に自立心を育むキャリア教育」の推進～

4段階評価 4:達成(期待以上) 3:ほぼ達成(ほぼ期待どおり) 2:不十分(やや期待を下回る) 1:改善を要する(期待を下回る)

評価項目	評価指標	自己評価	成果・課題及び改善策	総合評価	委員評価	学校運営協議会評価コメント(①～④は各評価指標に関するコメント、○は全般に関するコメント)
確かな学力の定着	① 「授業の目標やねらい」「学習のめあて」「まとめ」の整合性のある授業実践及び習得の時間の充実を図り、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。(確実な振り返り)	児童 3.7	○成果… 全国へき地教育研究大会宮崎大会の南那珂地区会場校として、複式指導の研究成果を発表した。ガイド学習の更なる充実を図り、基礎学力の向上に努めたい。 □課題及び改善策… 今後、県が推進している授業改善の取組と研究の要であるガイド学習の充実を図っていきたい。	3.5 ↗	3.3	① 榎原小の良いところが評価されたと聞いております。 ② 学校と家庭との共通理解を深める必要があると思います。 ③ 子どもと会話をしていることわざや慣用語を知らないことが多く感じられます。読書を通じて、ことわざや慣用語の向上に力を入れていただけると良いと思います。 ④ 読書量がやや下がっているようなので、工夫が必要だと思えます。 ⑤ 保護者への理解を深めていけば、評価も上がっていくと考えます。 ⑥ コロナの影響で、学習面、運動面、地域の方でも思うように充実した内容で進めることが難しいと思いました。その中で、先生方が今までになく努力をしなければならなかったと思います。一人一人の特性を生かし、先生と児童の信頼関係が築ければ、学習面他色々な面で子ども達が成長していけると思っています。 ○ 個々の特性に合わせた指導がなされていると思います。小学校時代の学力が今後の礎となるので、先生方の工夫と努力が大切だと思います。家庭と学校の連携も大切だと思います。 ○ 9年間を見通した指導計画や学習指導法の工夫改善が行われていることは大変良い取組だと思います。
		保護者 3.5				
		教師 3.3				
	② 小中連携の充実を図り、9年間を見通した指導計画や学習指導法の工夫改善や家庭学習の充実を図ることにより、確かな学力の向上を図る。	児童 3.8	○成果… 榎原小・中学校合同で9年間を見通した基礎学力を高める取組や生徒指導や児童会活動に関する取組、体力を高める取組を共通して実践した。 □課題及び改善策… コロナ禍で、小・中学校全職員で協議することが難しかったため、今後も年度当初や夏季休業等で取組の共通理解事項を確認する場を設定したい。	3.3 ↗		
		保護者 3.0				
		教師 3.0				
	③ 子どもの実態に即した読書指導と学校図書館の効果的な活用により、読書活動の充実を図る。(夢中になる読書)	児童 3.3	○成果… 積極的に読書活動の呼びかけを行った結果、1月末現在の読書量は、昨年度の一人当たりの平均貸出冊数と同数に近い68.4冊となっている。 □課題及び改善策… 貸出冊数に個人差があるので、全ての児童が読書活動を好きになるような工夫をし、読書意欲の喚起を図っていきたい。	3.3 ↘		
		保護者 3.5				
		教師 3.0				
	④ 特別支援教育体制の整備・充実により、特別な支援や合理的な配慮を必要とする児童への教育指導の充実を図る。	児童	○成果… 配慮を必要とする児童について、関係機関と連携し、その児童に適した指導法等を何うことができた。現在、継続指導中である。 □課題及び改善策… 関係機関から指導していただいた内容を全職員で共有し、引き続き指導にあたりたい。また、児童・保護者や担任の困り感を把握し、対処できる体制を整えていきたい。特別支援教育に関する保護者への周知も図りたい。	3.0 ↘		
		保護者 3.2				
		教師 2.7				
豊かな心を育む教育の充実	① 指導事項の共通理解と共同実践、家庭との緊密な連携により、基本的な生活習慣の育成に努める。	児童 3.3	○成果… 「榎原小よい子の一日」に基づいた指導を行い、定期的にチェックを行った。また、PTA文化学習委員会と連携し、基本的な生活習慣のチェックを各家庭で行い、意識は向上している。 □課題及び改善策… メディアの使用時間や家庭内での使用に関するルール等、家庭によってバラバラなので、大まかなルール等を考え、家庭に周知していく必要がある。	3.1 ↘	3.3	① あいさつなど良くやっていると思います。 ② 児童の評価が高いので、伸ばしてやってください。 ③ 子ども達がいじめがないという自覚が大切だと思います。 ④ 叱るより褒めろと言われていました。(親としては難しかったです。) ⑤ 褒める教育の推進は良いことだと思いますが、子どもが悪いことをしたのならきちんと叱っていただきたい。現在そうっていないというではありません。 ○ 思いやりをもった人間として、これからも成長してほしいです。子ども達の成長を地域の方々、学校、そして家庭が連携して見守ってほしいです。 ○ 褒める養育の推進に努められておられる様子が伺えて大変良いことだと感じています。これからも継続的にご指導をお願いします。
		保護者 3.0				
		教師 3.1				
	② 特別の教科道徳や学級活動(体験的な活動等)の充実により、豊かな感性を育むとともに、規範意識や自主性、社会性の向上を図る。	児童 3.8	○成果… ピア・サポートの実践として、本年度も12月に全学級、人権・生命尊重等の授業実践を行い、実践後に報告会をもち、共通理解をした。また、ピア・サポートに関する取組を全校で行い、教師も児童もピア・サポートを意識するようになった。 □課題及び改善策… これまでの取組を生かし、次年度以降も共通理解し、実践していきたい。	3.3 ↗		
		保護者 3.3				
		教師 2.9				
	③ 人権教育やコミュニケーション力の向上を推進し「いじめ防止基本方針」に沿った教育指導や教育活動の充実により、いじめの未然防止に努め、思いやりの心の育成を図る。	児童 3.9	○成果… 「いじめ防止基本方針」に沿い、教育相談を月に1回実施し、いじめ不登校防止等に努め、積極的な生徒指導を行った。本年度も昨年度に引き続き、コロナ禍の中で起こる特有な人権問題が起こらないように道徳等で指導を行った。 □課題及び改善策… 小さなことでも「報告・連絡・相談」を行う意識を全職員がもち、改善に向けて組織的に取り組むたい。	3.5 ↘		
		保護者 3.3				
		教師 3.4				
	④ 褒める教育の推進に努め、児童会活動を含め教育活動全般において自主的・実践的な態度の育成を図る。	児童 3.8	○成果… よりよい学校にするための児童会の話し合いにより、各学期毎にテーマを決めて取り組んだことで児童の自主的・実践的な態度の育成に繋がった。 □課題及び改善策… 児童のよいところを言葉にして伝える「褒め褒め大作戦」の共通理解と実践をさらに進めていきたい。	3.5 ↗		
		保護者 3.3				
		教師 3.4				
心身の健康及び安全教育の充実	① 体力向上プランに沿った確実な実践に努め、基礎体力や健康意識の向上を目指す。	児童 3.5	○成果… 体力向上プランに沿った実践を行い、体育授業や昼休み等の指導に生かした。健康意識については、元氣アップチャレンジカードや歯みがきカレンダーを定期的に活用して意識の継続を図った。 □課題及び改善策… コロナ禍で活動が充分に行えない中、できる取組を行った。次年度の体力向上プランも完成したので、できる活動を模索しながら、児童に合った取組を実施したい。	3.1 ↘	3.3	① 体力アップで、文武両道でしょうか。 ② 何時、どこで災害に遭うかもしれないので、万全な訓練が必要と考えます。(榎原では無い津波なども) ③ みやざきシェイクアウト訓練というものを初めて聞きました。どんなものか子どもに聞いてみたいです。 ④ 家庭での偏食が見受けられます。 ○ 体力増進を積極的に取り組まれていると思います。健康的な体が生活の基礎となるので、これからも力を入れてほしいです。 ○ 非常時訓練を6年間体験することの意義は大変大きいと思います。これからも継続してもらいたいです。
		保護者 2.9				
		教師 3.0				
	② 非常時避難訓練や日常の安全指導の充実を通して、防災・安全意識を高めるとともに、危険予測・回避能力の育成に努める。	児童 3.9	○成果… 風水害、地震・津波、不審者対応、火災の4回の非常時訓練とみやざきシェイクアウト訓練を実施することができた。 □課題及び改善策… 職員が出張等でない場合の対応など、いくつか改善点が出されたので、それを生かして、より適切な危機対応ができるように引継ぎを行っていきたい。	3.6 ↗		
		保護者 3.4				
		教師 3.6				
	③ 給食指導や食に関する指導の充実及び学年の発達段階に応じた「弁当の日」の実践により、食育の充実を図る。	児童 3.8	○成果… 栄養教諭による指導により、発達段階に応じた食育指導を行うことができた。「弁当の日」は、1回実施し、もう1回実施予定である。3つのコースを設定し児童に合った内容にチャレンジできた。 □課題及び改善策… 低・中学年に偏食指導が必要である。バランスのよい食事の大切さを指導し続けたい。	3.3 ↗		
		保護者 3.0				
		教師 3.1				
地域とつながる学校づくり及び自立性・社会性の育成	① 地域の人との交流学習を計画的に進め、地域のよさを感じ取らせ、郷土榎原を愛する児童の育成を図る。	児童 3.8	○成果… 感染症対策のため、地域の人との交流学習が実施できないことが多かったが、活動内容等を工夫することで、人数を減らすなどの措置をとり、できる限りの活動を行った。 □課題及び改善策… 人数での活動は制限されることが多いので、次年度の活動は内容等を工夫することで、地域の人との交流を続けていきたい。	3.4 →	3.4	① コロナ禍で地域との交流が少なかったことは残念です。収束後は以前と変わらずのことができることを願います。 ○ 昨年度に引き続き、今年度もこの項目の活動は難しかったと思います。その中でも、出来ることをされていたと思います。(学級通信等の文書で拝見していました。)引き続き取り組んでほしいです。 ○ 知っている人(親)には、あいさつをきちんとしてくれる子は多いのですが、榎原地区の人には、となるとあまり出来ていないように思えます。 ○ 横断後止まってくれた車にきちんと頭を下げた素晴らしいと思います。 ○ コロナ禍で行事もなかなか大変な中、色々な工夫をされて行われたと思います。来年度は学校に気軽に伺えるようになってほしいですね。 ○ 自分の生まれ育った地域を大切に感じ、愛する気持ちを育ててもらいたいと思います。
		保護者 3.4				
		教師 3.0				
	② 学校支援地域本部事業の推進を図り、キャリア教育及び地域と連携した教育活動を充実させる。 自ら学ぶ意欲や学び方の育成を図り、新時代を生き抜く「4つの学ぶ力」を育てる日南教育を推進する。	児童 3.7	○成果… コロナ禍の中、活動が制限されたものの、地域コーディネーターと連携し、活動方法を工夫しながら、様々な活動を行った。 □課題及び改善策… 学校行事等がいつも通り行えないことから、「4つの学ぶ力」を意識させる機会が減少した。何を学ぶのか、何ができるようになったのかを常に意識した授業をこれからも展開していきたい。	3.3 ↘		
		保護者 3.3				
		教師 3.0				